



## 甘粕事件～関東大震災直後に起きた政治的虐殺事件

甘粕事件は、日本史に詳しい人なら強く印象に残っている事件だと思います。  
 国家主義者の甘粕正彦憲兵大尉（32）が、関東大震災直後のどさくさに紛れて、無政府主義者の大杉栄（38）と、その妻・伊藤野枝（28）、さらに甥の橘宗一（6）を連行して惨殺し、古井戸に投げ込んだ事件です。被害者・大杉と加害者・甘粕は、思想だけでなく人格的にも対照的な人物でした。



甘粕正彦（1891-1945）



大杉栄（1885-1923）



伊藤野枝（1895-1923）

### 極端な自由を追求した大杉栄

大杉は軍人だった父の影響で、軍人を志し陸軍幼年学校に入学します。しかし、厳格な規則や上下関係になじめず、問題ばかり起こして退学させられています。その後、東京外語学校（現・外語大）仏語科で学び、天才的な語学の才能を発揮し、幸徳秋水（大逆事件で処刑）に可愛がられました。

大杉は日本史上もっとも過激な左翼思想家で、天皇も国家も認めず、全ての権威を否定しました。

「自由かつ独立した、完全に無制約な個人」の革命を、私生活上でも実践し、数々のスキャンダルで世間を賑わわせ、若い世代のカリスマになります。大杉と妻の名が違うのは、完全に対等な男女関係を目指し、男女別姓を実行していたからです。しかも大杉には3人の妻が居ました。次々と生まれる子供たちには、魔子、エマ、ルイズ、ネストルといった名前を付けました。

「反逆と破壊の中に至上の美を見出す」というのが彼の信条です。長身でダンディーな大杉は女性からはもてたのですが、男からは社会主義者の仲間内ですら嫌われ者でした。わがままで強情、まともに働かないから借金だらけで生活は乱れ、周りにさんざん迷惑をかけているのに、自分以外のすべての者を馬鹿にしてあざけていたからです。

## どこまでも実直だった甘粕正彦

これに対して甘粕は、地味でまじめな青年でした。仙台藩士だった父から「忠君愛国」の思想を叩き込まれ、日露戦争があった少年時代、皇国のために戦って死に、靖国に祀られることを人生の目標と定めました。背が低く、女性と無縁で、外国語が大の苦手でしたが、律儀で几帳面だったため、陸軍幼年学校、士官学校とも模範生となり、東条英機（極東軍事裁判で処刑）に目をかけられました。

甘粕を知る人は、口々に彼のことを、「男が惚れる、男の中の男」、「私利私欲の全くない、国家のことだけを考えた男」、「冷静で実行力に富み、友情に厚い、誰よりも頼りがいのある男」とほめたたえています。天皇・祖国に対する崇拜と自己犠牲の念は終生変わらなかったと言います。

一般には甘粕は、「大杉のような男を生かしておいては国家の害毒になる」と確信し独断で殺害を決行したとされています。ところが、事件発覚後、軍事法廷が下した判決はたった10年の懲役刑でした。しかも3年足らずで出獄し、軍の費用でフランスに留学した後、満州国の黒幕として工作活動に暗躍しました。角田房子さんの『甘粕大尉』（ちくま文庫）によると、どうやら大杉殺害の真相は軍上層部の命令によるものであったのに、甘粕が「すべては自分の独断でやったこと」と罪を一身に被ったようなのです。甘粕は終戦直後、満州で自決しています。

「大ばくち 元も子もなく すってんてん」（辞世の句）  
大杉事件の真相は最後まで誰にも明かしませんでした。

## 人が作り出す「観念」の恐ろしさ

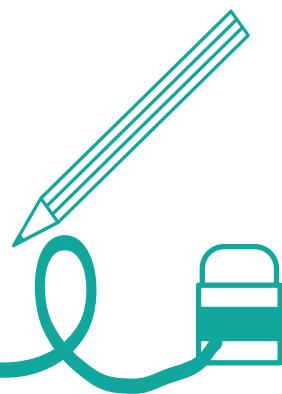
大正末期は、自由と束縛、個人と国家の拮抗した、日本思想史上もっとも左右の振幅の激しかった時代です。そうした空気の中、思想上でも性格上でも両極端な人物が出現したのです。

大杉にせよ、甘粕にせよ、純粹すぎたばかりに、自分で作り上げた「観念」の虜となり、やがてそれに押しつぶされたように思います。

ここで自覚したいのは人間が作り出す『観念』の恐ろしさです。「国家」も「天皇」も、いや「自由」すらも、人間が作り出した観念です。この観念が暴走すると、争いが起き、世の中に様々な苦しみをもたらします。

観念の暴走から逃れるには、どうすればよいのでしょうか。私は『自然』に立ち返ることしかないと思います。自然を忘れた人間と文明は滅びます。

# 喜治塾 OBOG よりメッセージ



## どうやってモチベーションを維持したか

合格してからいろいろな方に「公務員試験は科目が多いし、勉強をたくさんしなくてはならないけれど、モチベーションが長続きしません。どうすれば良いですか？」と聞かれることが多いです。

私の答えは・・・

「そもそもモチベーションなんてものに頼りません。というか、そのようなものはそもそもありません。」

受かりたいなら、モチベーションやらやる気やら、目に見えない言い訳を考える前に、目の前にあるテキストの用語一つでみ覚えたほうがよほど生産的だと思います。勉強は好きではない私はそうやって毎日決めたことだけに集中してそれを消化していきました。

喜治塾の先生方は熱心です。一人にひとりに向き合って合格に向けてのシナリオをかながえてくださいます。応援しています。

東京都職員 O さん



これからも日本中、世界中で活躍する喜治塾 OBOG からのメッセージをご紹介します。



# おたよりコーナー

みなさんからのおたよりをお待ちしております。

ハガキでも Fax でもメールでも！

始めたばかりです。

勉強も久しぶりにします。

昔はあまり勉強が好きではなかった  
私ですが、木曜日夜9時を楽しみに  
しています。

よろしくお願いします。

初めまして。

木曜夜9時を楽しみにしてく  
れることはとても嬉しいです。  
楽しさが続くように講義してい  
きますので、よろしくお願いし  
ます。



## あて先

### ● ハガキ

〒169-0075

新宿区高田馬場 3-3-1-5 階 喜治塾

おたよりコーナー宛

### ● Fax 03-3367-0192

### ● メール [info@kijijuku.com](mailto:info@kijijuku.com)

件名「おたよりコーナー」



## 編集後記

1月7日は人日の節句「七草粥」を召し上がりま  
すか？わが家は本格的に春の七草を揃えて作るため、  
具多め、葉っぱばかりのお粥となります。これこそ「無  
病息災食」みたいになります。家族には不評です…。  
今年も皆さまが健康にステキな一年をお過ごしに  
なれますよう、心より願っております。（中江）

## 次月のお知らせ

2月の予定は下記です。

2、9、16、23日

すべて木曜日夜9時からです。



# 喜治塾 NOW

-  特別区経験者試験対策講座 2023年合格
-  2023年合格「都庁短期合格講座」(通学・WEB)
-  いつからでも始められる公務員試験対策講座  
月謝制 月 20,000 円
-  公務員試験のための「やり直し数学」「やり直し英語」
-  特別区 I 類 30 日 WEB 講座

「論文個別指導」「インタビュー形式個別指導」「模擬面接」などの個別指導は  
通年実施しております。対面でもお電話や ZOOM でも受講可。

(ご予約 ☎03-3367-0191)

